

5・15沖縄施政権返還から54年



戦争止めよ! 米軍基地撤去の声を

54年前の5月15日。県民のたたかいで米軍占領を打ち破り、沖縄が日本の施政権の下に復帰した日です。県民の願いは、米軍基地のない、日本国憲法下で戦争しない日本への復帰でした。しかし、いまでも沖縄には広大な米軍基地が居座り、県民を苦しめ続け、いま、米トランプ政権による無法なイラン攻撃の出撃拠点ともなっています。「基地のない憲法の活きる平和な沖縄を」——これが沖縄県民の願いです。

沖縄からは、海兵隊部隊とオスプレイ、戦闘機が出撃

イラン攻撃に沖縄からは「殴り込み部隊」海兵隊が2500人規模で長崎県佐世保を母港とする強襲揚陸艦に輸送機オスプレイと共に乗って出撃。嘉手納基地の第18航空団も出撃しています。沖縄の海兵隊部隊は、ホルムズ海峡でイラン船舶を攻撃、拿捕（だほ）する作戦も行っています。

イラン攻撃に動員される在日米軍



スペインやイタリアはイラン戦争への米軍基地の使用を拒否

米国の同盟国でも、スペインやイタリアなどの政府は、このイラン攻撃を国連憲章違反の攻撃と批判し、その攻撃のための米軍基地の使用や領空通過を拒否しています。高市政権も戦争に反対し、米軍基地の使用を拒否すべきです。

沖縄に新たな基地の押し付けはやめて

米国言いなりの高市政権は、沖縄の辺野古・大浦湾の海を埋め立て、新基地建設をゴリ押ししています。それは沖縄と日本を無法な戦争に巻き込む道です。完成の見込みもなく、環境を破壊するだけの新基地建設は、ただちに中止すべきです。



辺野古新基地建設工事の中止と
普天間基地撤去を求める署名にあなたも!



日本平和委員会

2026年5月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです
「平和新聞」(月2回刊)、「平和運動」(月間)発行中

<http://j-peace.org/> (X) (F)

